



青森県感染症発生情報
(2026年第5週)

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/eisei/infection-survey.html>

I 第5週の発生動向 (2026/1/26～2026/2/1)

1. インフルエンザについては、上北保健所管内で警報が継続しています。また、三戸・八戸市保健所管内で注意報が継続しており、東津軽・青森市保健所管内が新たに注意報レベルとなりました。県全体の定点当たり報告数が再び増加していますので、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防も兼ねて、ワクチン接種を含めた基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「侵襲性感染症の発生動向」です。

最終ページに掲載しています。

※記載データは、速報値です。

II 第5週五類定点把握対象疾患

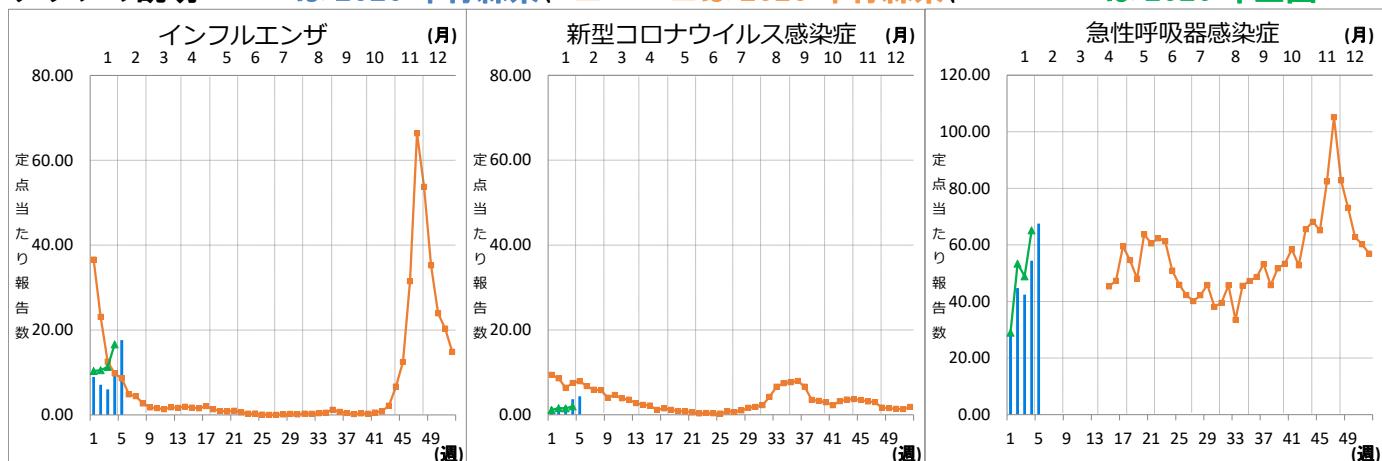
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	179	16.27	90	9.00	236	23.60	27	4.50	338	37.56	46	7.67	916	17.62	392	
	新型コロナウイルス感染症	19	1.73	48	4.80	50	5.00	29	4.83	58	6.44	23	3.83	227	4.37	35	
	急性呼吸器感染症	910	82.73	473	47.30	639	63.90	320	53.33	705	78.33	465	77.50	3512	67.54	682	
小児科	RSウイルス感染症	2	0.33	3	0.50	4	0.57	4	0.80						13	0.38	-5
	咽頭結膜熱	1	0.17	2	0.33	1	0.14			1	0.17				5	0.15	-5
	A群溶血性レサ球菌咽頭炎	12	2.00	26	4.33	5	0.71	2	0.40	6	1.00	4	1.00	55	1.62	-4	
	感染性胃腸炎	26	4.33	36	6.00	70	10.00	30	6.00	11	1.83	2	0.50	175	5.15	3	
	水痘	1	0.17	2	0.33	1	0.14	3	0.60	1	0.17			8	0.24	-2	
	手足口病											4	1.00	4	0.12	4	
	伝染性紅斑											3	0.75	3	0.09	2	
	突発性発しん	6	1.00			6	0.86			2	0.33			14	0.41	8	
眼科	ヘルパンギーナ															0	
	流行性耳下腺炎															-2	
基幹	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎															-1	
	感染性胃腸炎(ロウイルス)															0	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															-1	
	マイコプラズマ肺炎											3	3.00	3	0.50	1	
	無菌性髄膜炎															0	

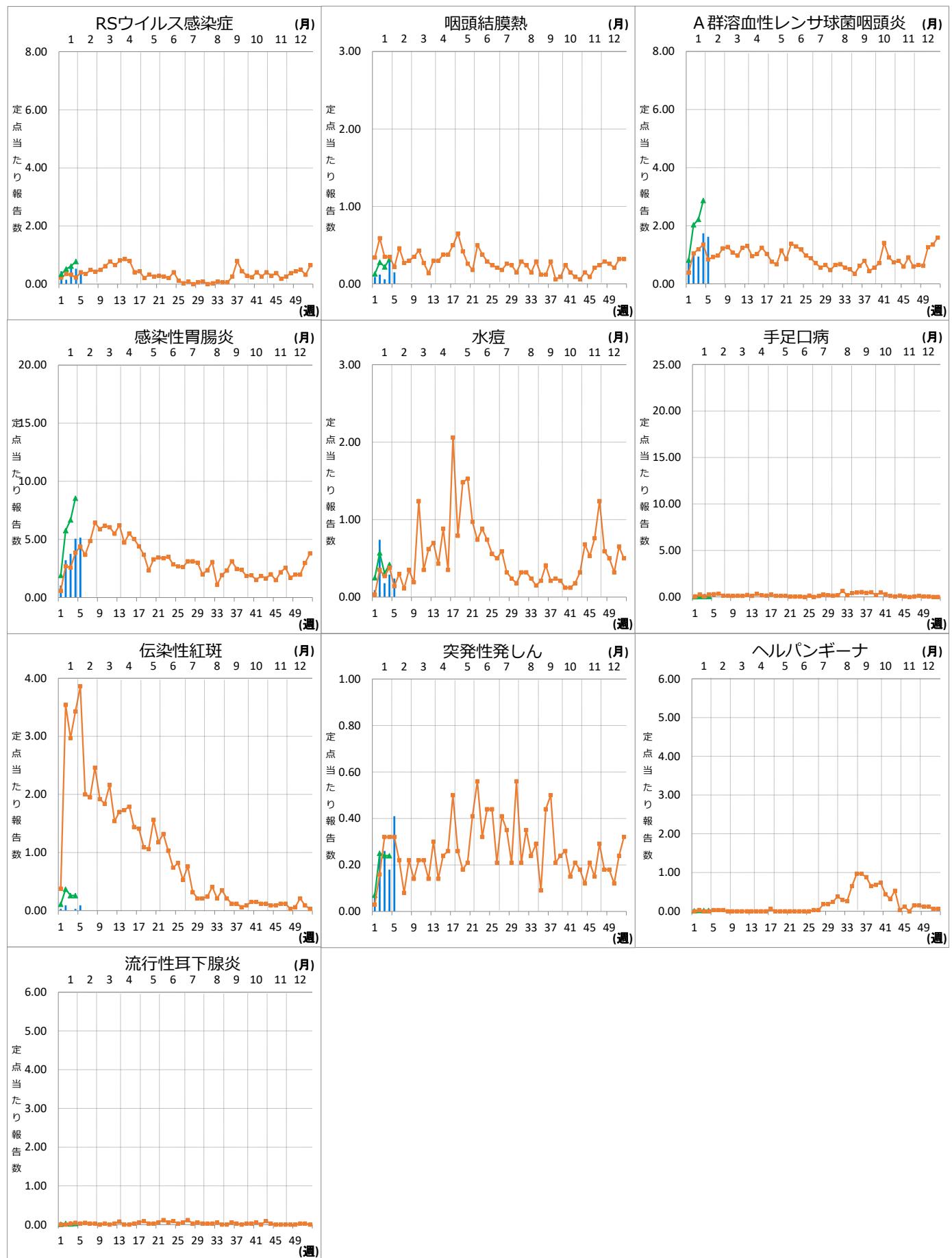
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第5週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ————— は 2026年青森県、————■———— は 2025年青森県、▲————▲———— は 2026年全国



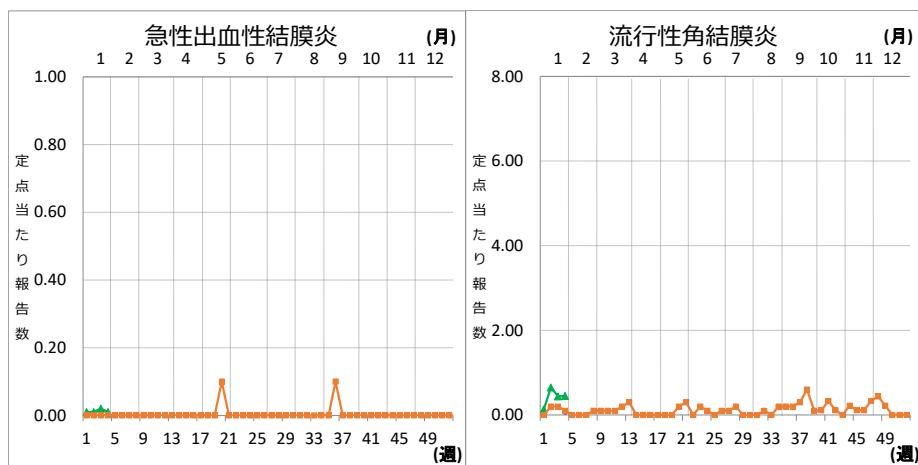
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026年第5週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



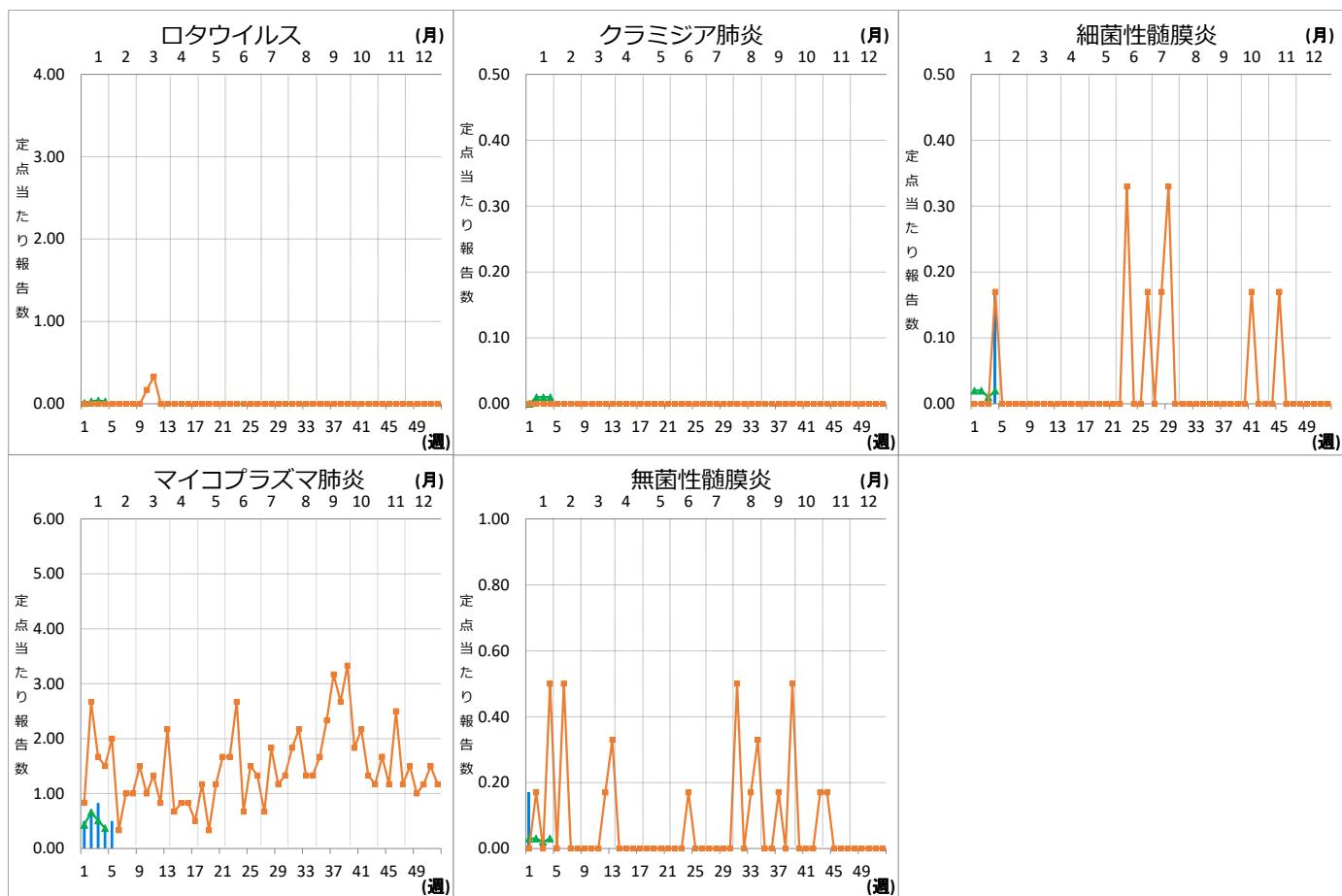
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026年第5週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026年第5週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国

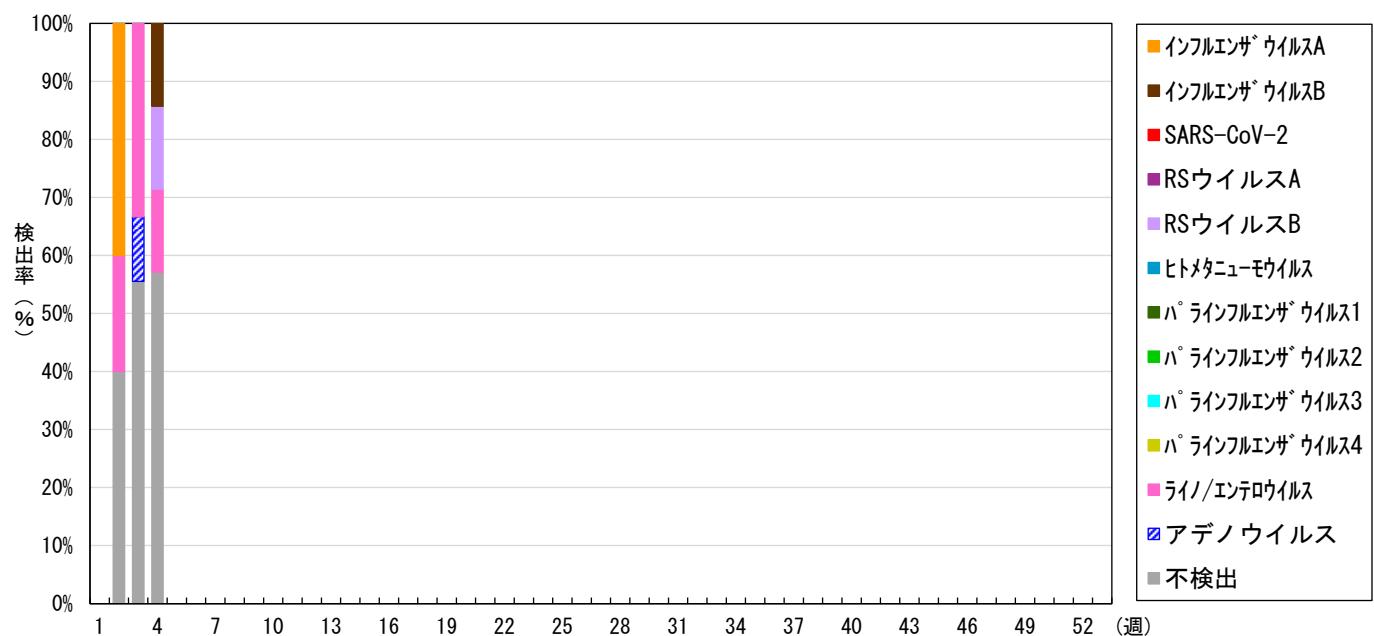


VII 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026年第1週～5週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週
提出検体数	0	5	9	7	7			
インフルエンザウイルスA	0	2	0	0				
インフルエンザウイルスB	0	0	0	1				
SARS-CoV-2	0	0	0	0				
RSウイルスA	0	0	0	0				
RSウイルスB	0	0	0	1				
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0				
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0				
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0				
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0				
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0				
ライノ/エンテロウイルス	0	1	3	1				
アデノウイルス	0	0	1	0				
不検出	0	2	5	4				
検査待ち	0	0	0	0	7			

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026年第1週～4週)



VIII 全数把握対象疾患発生状況（第5週）

- ・結核（二類感染症）：中南1人、上北1人 (2026年計：9人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）：中南1人 (2026年計：3人)
- ・百日咳（五類感染症）：青森市1人、八戸市1人、下北1人 (2026年計：4人)

IX 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026年第2週～2026年第5週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 水痘（入院例）1人 百日咳1人	侵襲性インフルエンザ菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	結核1人 水痘（入院例）1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
3	水痘（入院例）1人		結核1人 水痘（入院例）2人		結核2人	結核1人
4		侵襲性肺炎球菌感染症1人	結核2人			
5	百日咳1人	結核1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	百日咳1人		結核1人	百日咳1人

第4週に三戸・八戸市保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国

（2026年第1週～第4週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エムポックス	重症熱性血 小板減少症 候群	つつが虫病	デング熱
累積報告数	766	7	150	1	41	7	5	1	24	10
分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ 症	レプトスピラ 症	アメーバ赤 痢	ウイルス性 肝炎	カルバペネム 耐性腸内細菌 目細菌感染症	急性弛緩性 麻痺	急性脳炎	クリプトspo リジウム症
累積報告数	2	2	148	1	23	14	65	5	20	3
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェ ルト・ヤコブ 病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫 不全症候群	ジアルジア 症	侵襲性イン フルエンザ 菌感染症	侵襲性髄膜炎 菌感染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘 (入院例)	梅毒	播種性クリ プトコックス 症
累積報告数	10	121	50	2	39	5	257	61	655	11
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	パンコマイシン 耐性腸球菌 感染症	百日咳	風しん	麻しん					
累積報告数	6	6	862	1	9					

青森県

（2026年第1週～第5週までの累計）

分類	二類	三類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性 大腸菌 感染症	劇症型溶血性 レンサ球菌 感染症	侵襲性イン フルエンザ 菌感染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院 例)	百日咳
累積報告数	9	1	1	1	3	5	4

XI 病原体検出情報

※（ ）内は、検査材料及び検体採取日

報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026年第5週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第5週	児童・婦人関係施設等	14	中南保健所
第5週	障がい関係施設	20	上北保健所

2026年報告件数及び症者数

施設種別	月(週)	1月					2月					3月					4月					5月					6月					7月					8月					9月					10月					11月					計 (施設別)
		1週	2週	3週	4週	5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	1週	2週	3週	4週	5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週																								
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	0	1	0																													2																						
	発症者数	15	0	0	22	0																													37																						
児童・婦人関係施設等	件数	0	1	0	2	1																													4																						
	発症者数	0	23	0	55	14																													92																						
障がい関係施設	件数	0	0	0	0	1																													1																						
	発症者数	0	0	0	0	20																													20																						
その他施設	件数	0	0	0	0	0																													0																						
	発症者数	0	0	0	0	0																													0																						
計(月別)	件数	7																																7																							
	発症者数	149																																	149																						

感染症の窓

侵襲性感染症は、本来、無菌的な血液や髄液等から起因菌が分離された感染症のことを指し、一般的に重症例が多いといわれています。感染症法上の五類感染症のうち、侵襲性感染症に該当するものとしては、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、侵襲性インフルエンザ感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症及び侵襲性肺炎球菌感染症の4疾患が挙げられます。

青森県内における過去10年間の侵襲性感染症の報告数の推移は図のとおりです。青森県内では、侵襲性髄膜炎菌感染症の発生は確認されていませんが、その他の3疾患について、毎年一定数の報告があります。コロナ禍においては、一時的な減少がみられたものの、2022年以降は再び増加し、2024年に過去最多の報告数となりました。2025年の報告数は前年の中半以下に減少していますが、2026年は、第5週現在、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、侵襲性インフルエンザ感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症3件の報告があり、今後の発生動向に注意が必要です。

いずれの疾患も、予防には手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染対策が有効です。また、インフルエンザ菌(Hib)、肺炎球菌(小児、高齢者)、髄膜炎菌(海外渡航者)の予防にはワクチンがあります。ワクチン接種については、お住まいの市町村またはかかりつけ医等の医療機関にお問合せください。

侵襲性感染症の発生動向

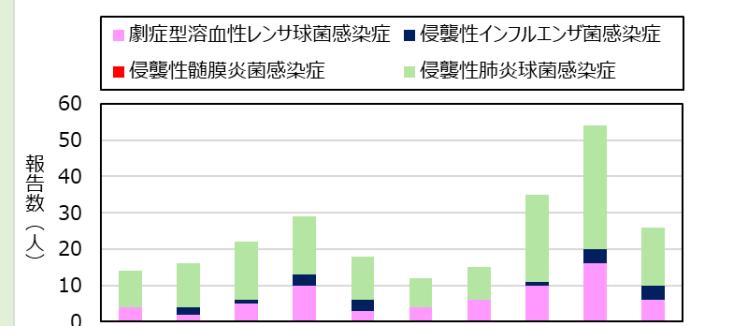


図 青森県内における侵襲性感染症の報告数の推移
(2025年は速報値)

○詳しい情報はこちらをご覧ください。[予防接種・ワクチン情報\(厚生労働省HP\)](#)

